

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ぽぷりか		
○保護者評価実施期間	令和7年1月27日		～ 令和7年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	令和7年1月27日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月25日		
○分析結果			
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個々の特性や課題を踏まえた自立支援の充実	・支援計画の作成における充実した話し合い。(より具体的で実践的な目標と支援・手だての確立)	・個々の課題解決に向けた確実な支援の実践
2	・異学年集団による交流や療育活動の実践	・発達段階を考慮した療育内容やグループ編成	・自己決定の場を確保するとともに、協力合う・励まし合う体験の充実
3			
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援時間に制約があり、十分な体験や遊びを確保できない。	・支援時間の不足 ・学校からの宿題の多さ	・長期休業中の朝から一日利用する機会に、他者との関わりを重視した体験活動の充実
2	・地域の他の子どもと活動する機会を設定できない。	・双方の交流活動の目的を共有することが難しい。	・交流活動の目的を共有するための協議会の設定
3			

事業所名

児童デイサービス
ぱぷりか

公表日 令和7年3月14日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 遊びスペースと運動スペースに分けて児童が分散するように工夫しています。 運動スペースは、使用時間を決めて偏りのないようにみんなで使用できるようにしています。 	
②	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 利用人数に合わせて適切なスタッフ数の配置がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日によっては送迎時に支援が手薄になる時間帯があるため、送迎の計画を工夫し、できるだけ支援が手薄にならないよう配慮します。
③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> 空気清浄機の設置等環境面の配慮がなされています。 運動スペース、遊びスペースは児童に分かりやすく配置されています。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援フロアの入り口、トイレに関しては、車いすが入れるスペースがないため、今後必要に応じて検討していきます。
④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の清掃、消毒を行い、清潔を保っています。 空調、室温等も定期的に確認し、換気もしています。 空間除菌の機械を導入し、利用中常に空間除菌を行っています。 	
⑤	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> オープンフロアなのでクールダウンが必要な場合は、玄関フロアの使用もできるように配慮しています。 個別デスクもパーテーションで仕切って配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習時にも必要があれば玄関フロアを使用できるよう、パーテーションを立ててスペースを確保できるように検討していきます。
業務改善	⑥ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の会議では共通理解されていない業務について再確認を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議等でなくても、気になったことは業務、支援に関わらず問題提起して相談しながら業務を行っています。
	⑦ 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 毎年行い、結果をまとめてスタッフ間で話し合い、改善について検討する会議を行い、結果を公表しています。 	
	⑧ 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> 管理者へ報告や相談ができる関係性ができており、その都度問題提起をし、会議などで取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も会議やミーティングの場等で問題提起し、スタッフ全員で話し合いを行って改善に努めていきます。
	⑨ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	<ul style="list-style-type: none"> 行っていません。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後機会があれば行いたいと思います。
	⑩ 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 法人研修は毎月行っています。様々な内容で行い、その他にも外部研修会に参加する機会も確保されています。 	

適切な支援の提供

⑪	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・今年、4月の時点で様式が確定されていなかったため、独自の物を作成し公表し、それを基に毎月の集団療育活動を計画しています。活動内容は毎月ばぶりかだよりで公表しています。	
⑫	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・半年に一度、又は、必要に応じて保護者と面談し、常に子どもと保護者のニーズに合った支援計画を作成しています。	
⑬	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・面談前の資料作りの段階で必要があれば担当者や他スタッフと相談し、面談後もモニタリング会議を経て作成されています。	
⑭	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・支援内容の一覧表を作成して全ての職員が担当児童以外でも支援できるよう周知がなされています。	
⑮	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・フォーマルアセスメントは利用開始時に行っています。インフォーマルアセスメントは、日々の支援の中で取り入れて確認を行っています。	
⑯	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・面談の際に、項目順に保護者、本人のニーズの把握を行い、それを踏まえてスタッフ間で検討しています。	
⑰	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・ばぶりかだより発行前に、必ず担当者全員で話し合いを行い、活動に偏りがいないか児童発達支援管理責任者が調整や助言を行っています。	
⑱	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・5領域に沿って、毎月、決まった曜日が同じ活動にならないように相談して計画を立てています。	
⑲	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・放デイ計画の支援内容欄に明記しており、集団療育活動は月ごとに内容を変更し、様々な体験や活動ができるように配慮しています。	
⑳	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・朝にミーティングで行っています。また、休業日利用で行うことができない場合は、口頭で伝達したり、メモをしたりして分担確認をしています。	
㉑	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	・送迎で不在のスタッフもいるため、次の日の午前に振り返りを行っています。	・打ち合わせという形ではないですが、在勤スタッフで作業終了後に振り返りを行い、改善策を話し合っています。
㉒	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・細かい様子を忘れないようメモを用意し、全スタッフが書き込み、確認できるよう工夫しています。また入力の際には、計画に沿った支援と様子に項目分けして状況をより分かりやすく記録しています。	

適切な支援の提供	23	定期的モニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・半年に一回行っています。又、不具合が生じた場合にも話し合いの場を設け、改善策をチームで相談しています。	
	24	放課後等サービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	8	0	・放デイ計画、療育活動計画作成時に配慮して組み込み、支援計画を立てて行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	・サークル活動を取り入れ、自分で考え、決定する機会を少しずつ増やしています。 ・おやつの際に、選択の機会を作り、選べるおやつの日を設けています。	・日常のやり取りの中で、スタッフが児童に対して選択の機会を作る声かけを増やしていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・新規児童受け入れ時や支援経過で相談が必要な場合に、相談支援事業所の担当者と連絡を取り、会議を開催してもらっています。児童の担当者が他のスタッフからも様子を聞いた上で参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・相談支援員を中心に、必要に応じて連絡が取れる体制が整っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	・必要に応じて学校とも直接連絡を取り、スムーズに業務を行えるよう工夫しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	・必要があれば行うことができるよう体制はできています。	
	30	学校を卒業し、放課後等サービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	・現在までに事例はないが、必要な時には行うことができるように体制はできています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0	・地域の児童発達支援センターとの連携はあるが、スーパーバイズや研修の機会はありません。利用児童の担当だった先生からの助言はいただくことがあります。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	8	・放課後児童クラブ、児童館との交流はありませんが、子ども夏祭りなどを開催し、地域の子供達との交流に努めています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0	・放デイのことを熟知している方が参画しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・連絡ノートやメール機能を活用して日々のやり取りをしています。又、送迎時に必要な情報交換を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	・困りごとに対しての助言や情報提供、研修会の情報については、その都度行っていますが、プログラムの作成までは行っていません。	

保護者への説明責任	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 主に契約時に行っています。 変更になった部分は、その都度文章で説明しています。 	今後も年度毎に、配布できるものは配布して確認していきます。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者面談の際に、保護者の意向や児童の様子を汲み取っています。 気になった行動や支援内容に加えて別の支援が必要と感じた時には、保護者に状況を説明し、相談した上で方向性を決めています。 	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 提案した計画に不具合や意向とのズレがないかを確認していただき、電話やノートを通じて修正後、同意を得ています。 	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 電話や連絡ノートを通じて行っています。又、必要に応じて面談で対応しています。 	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者交流会や法人行事などを年数回開催しており、その際に兄弟の参加も促しています。 	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 意見箱を玄関に設置しています。現在苦情はありませんが、小さなことでもすぐに解決できるように、担当者だけでなく上司や計画相談員に相談し、適切に対応しています。 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HP や SNS 等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ぱぷりかだよりやメール機能、ホームページなどを活用し発信しています。 	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 毎年、写真使用のため保護者に確認を行い、一覧を作成しブログ等で写真を使用する際に配慮しています。又個人ファイルにまとめ、鍵のついたキャビネットに保管しています。 	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の実態に合わせてノート、メール、電話または、送迎時に直接伝達など様々な方法を用いて伝える工夫をしています。 	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 本部が主体となって地域交流を行っています。 		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 年度毎に見直し、スタッフ全員で確認しています。保護者へはホームページ上(会員ページ)で公開し、常時確認ができます。又、各種マニュアルは常時閲覧できるように玄関にもファイルして設置してあります。今年からは自然災害や感染症 BCP 訓練を実施し、実践に近い訓練を行っています。 	

④7	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・毎月避難訓練、防災訓練を行っています。それに加えて、スタッフも年数回の自然災害 BCP 訓練を行い、災害に備えています。	
④8	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・服薬については、薬の変更のたびに説明書のコピー提出をお願いし、全スタッフに周知し、個人ファイルに保管しています。	
④9	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・医師の指示書をもらってきていただいて、それに従って対応しています。	
⑤0	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・年間の安全計画を作成し、計画に従って研修や訓練を実施しています。（BCP 訓練含む）	
⑤1	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	・安全計画を作成し、周知しています。（毎月の避難訓練、BCP 訓練を含む）	・家庭と連携した安全教育を図るために、毎年年間計画を保護者にも配布して周知していきます。
⑤2	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・スタッフ会議の際に法人全体のヒヤリハットも周知して、業務する上で配慮しています。	
⑤3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・法人での研修会に参加し、日々の支援で虐待に繋がりそうな言動があった時は、まわりが声をかけて対応を代わるなど配慮しています。	
⑤4	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	・必要に応じて、事前に保護者に相談し了承を得てから行うようにしています。	